

あなたの真下をリニアが通る！ JR東海が「環境影響評価準備書」公表 麻生区に立坑（避難口）2ヶ所、正式ルートが明らかに JRの「説明会」でも住民の不満・不安は解消されません

JR東海が9月18日リニア新幹線の環境影響評価準備書を公表し、各地で住民への説明会や意見募集を開始。麻生区でも4回の説明会が開催されましたが、JRは立坑やトンネルが作られる沿線住民の切実な質問や要求にまともに答えず、抽象的な回答に終始し、参加者の不満や不安は解消されませんでした。

■工事の着工はまだ決まっていない

住民主催の学習講演会（10/18）に70名余の市民が参集
—みんなで「準備書」への意見提出を！（期限：11月5日）

JRの説明会に不満の住民は、18日の講演会に参加し、準備書の問題点を学びました。またリニアのトンネルが直下に作られる地域の自治会では、有志が会合し皆で意見を提出することになりました。

●工期は11年、その間の騒音や振動、大気汚染、交通渋滞はどうなるの？

2014年度に着工、東京—名古屋間開業までの10数年間、麻生区の閑静な住宅街を工事車両が走り回ります。立坑が建設される王禅寺の交差点では 1分間に1台以上の残土を満載したダンプカーが走り回り、交通渋滞や大気汚染、騒音・振動を撒き散らします。しかも残土の処分先はいまだ不明。

●ルート地域の不動産価格が下落した場合、誰が補償してくれるの？

リニアのトンネルが真下に作られる地域の不動産価格は下落する恐れがありますが、JR側は説明会でも大深度法を盾にして補償に應ずる姿勢は全くありません。

●非常時一乗客はトンネルを自力で歩いて脱出できるの？

地震や火災で列車が急停車した場合、1000人も乗客は数人の乗務員の誘導でトンネルの避難路から地上に避難することになっていますが、避難口までの最長5kmを老人・子供も、停電の場合には暗闇の中を自力で歩かなければなりません。エレベーターが動かなければ更に階段を40-100mもよじ登らなければなりません。これではとても安全対策とは言えません。

●南アルプスの活断層を横切る危険性—トンネルは何mの断層に耐えられるの？

南アルプスには中央構造線や静岡・糸魚川線など日本でも有数の断層があり、過去の地震で断層が上下数メートル動いています。今後30年以内に予測される南海トラフ地震に連動して断層が動いた場合どうなるのか？—JRは説明会でもこの質問に答えられません。

学習講演会（シリーズその二）

立ち止まって考えよう！リニア新幹線

と き： 11月9日（土）18：00～20：30

と ころ： 麻生市民館大会議室（小田急新百合ヶ丘駅徒歩5分）

講 演： 橋山禮治郎さん（千葉商科大学大学院客員教授）

櫻田秀樹さん（ジャーナリスト）

主 催： リニア新幹線を考える東京・神奈川連絡会

リニア新幹線を考える麻生・多摩の会

リニアは本当に必要なのか？もう一度よく考えてみましょう

資料代300円
いただきます・

皆さんの意見書は川崎市や神奈川県の環境影響評価審査に反映されます。多くの意見によってリニアの暴走に待ったを！

環境影響評価準備書への意見書の提出方法

1. 意見書の提出はインターネットと郵送の方法があり、提出先も JR 東海および川崎市の2つがあります。いずれかでも、両方でもかまいません。

(1) 環境影響評価法に基づく「環境影響評価準備書（神奈川県）」

【提出先】①インターネットの場合：JR東海ホームページの専用入力フォーム
(<https://jr-central.co.jp/public/opinion/input>)

②郵送の場合：あて先「〒108-8799 高輪郵便局留

JR東海 中央新幹線環境影響評価準備書ご意見受付係」

(2) 川崎市環境影響評価に関する条例に基づく「法対象条例環境影響評価準備書（川崎市）」

【提出先】郵送のみ

宛先：〒210-8577 川崎市川崎区宮本町1番地 川崎市環境局環境評価室

◎ 郵送の場合は、JR東海・川崎市とも住所・氏名・電話番号（川崎市の場合）等記載のこと。
意見書の用紙、様式は自由。

★提出締め切り 11月5日 必着

2. 意見書の書き方

① 意見の数に制限は無く、一人でいくつもの意見を述べる事が出来ます（JRに確認済み）。

② JR東海の“留意事項”には、「環境保全の見地からのご意見に限らせていただきます」とありますが、意見内容は環境保全のみに限定することなく、リニア新幹線計画そのものについて率直な意見（例えば、計画の再検討や凍結など）を述べる事ができます。

③ 同一内容の意見書であっても、意見を提出する人が異なれば個別の意見として扱われますので、家族や知人の皆さんにも意見提出を呼びかけましょう。

<記入例 郵送の場合>

JR東海環境影響評価準備書に対する意見書

氏名 川崎太郎

住所 川崎市麻生区麻生1-1-1 電話 123-4567

(地域) 神奈川県

(項目) 安全性について

(意見) 地震が起こった場合、40mの地下から脱出できるのでしょうか。エレベーターが動くような電源が確保されているのでしょうか。・・・説明会に参加しましたが、対策が充分とはとても思えません。・・・以上の理由で、リニア新幹線計画は凍結すべきと考えます。

★意見書郵送の場合、「リニア麻生・多摩の会」までFAXいただければまとめて郵送しますので10月30日までにFAX下さい。

Fax 044-988-2282 門平

リニア新幹線を考える麻生・多摩の会

矢沢 090-6108-6568

<http://web-asao.jp/hp/linear>

JR 東海 環境影響評価準備書に対する意見書

氏名 _____

住所 _____ 電話 _____

① (地域) _____

(項目) _____

(意見)

② (地域) _____

(項目) _____

(意見)